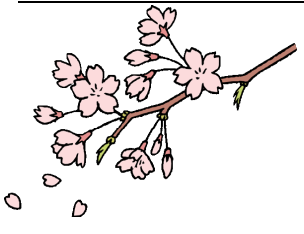


入学・進級、おめでとう。



新入生の皆さん入学おめでとうございます。苦しかった受験勉強も終わり、新しい季節がやってきました。今あなたたちは、希望と不安が入り交じっていることと思います。この南高への入学を、まだ知らない学びや活動への一歩として捉え、力強く踏み出してくれることを強く望みます。胸に秘めている高校生活で頑張りたいことを3年間持ち続け、それに向かって頑張っていきたいと思います。明るく、楽しく、元気に、全力で事を成し、充実した高校生活を送ってください。

さて、在校生の皆さん。新入生を迎えて改めて「上級学年」を実感するとともに、その希望に満ちた初々しい姿を見て、先輩としてしっかりやっていかなければいけないという自覚も感じるのではないでしょうか。周りを見れば、新しいクラスの仲間や先生、教室など環境も変わり、新たな気持ちでいることと思います。2年生は活動の中心です。学業との両立をしながら、昨年の経験を生かして学校生活全体でリーダーシップを発揮してください。3年生は自分の進路に向かって今までで一番努力をしなければならないときです。それぞれに目標をもち、力を出し切って充実した1年にしてください。

授業を大切に、それが高校の勉強の基本です

高校入試終えたばかりの新入生に、高校の勉強（大学入試）に備えた勉強を言うのはやや酷かもしれません。しかし、目標をしっかり見据えて、1年生から取り組むことの重要性は卒業していく生徒が異口同音に言うことです。まだ、今から気張ってやる必要はありませんが、高校での勉強の仕方をいち早く身につける必要はあります。

だからといって、高校の勉強という特別な内容があるわけではありません。あくまで基本は授業と考えてください。そして、自宅での学習時間を確保し、自分でもいろいろと勉強方法を工夫してください。学年プラス1時間、つまり、1年生は一日2時間、2年生は一日3時間は家庭で学習してください。どの学年も授業と予習復習、課題考査や定期考査、さらに模試を通して、着実に力を蓄えてください。不安になって塾へ行こうと思う人もいますが、必ずしも効果的とは限りません。学校での勉強・予習復習や課題が十分にできない人が塾に行っても、空回りしてどちらも中途半端になるだけです。国公立大学や上位の私立大学に合格した先輩たちの多くは、学校の授業・補習中心の学習だけで十分な学力をつけました。言い換えれば、南高の指導にしっかりと取り組むことが大切なのです。良い意味で、南高の先生をうまく利用しましょう。

卒業生の言葉より

・1年間の序盤と終盤は、自分の成績が思うように上がらなかったり、上がっているのかわからなかったりで、とても焦りました。でもなんだかんだと言っても、勉強を続けていると必ず力は付くんだと思います。“受験生＝3年生”と思いがちですが、受験を意識し始めたら受験生だと思えます。だから、1年生、2年生のうちからでも勉強しておくべきだと思います。

・2年生の10月の模試が悪すぎたので、2年の終わりからずっと7時半には学校にきて勉強して、かなりの量の勉強を朝の時間にできたので、朝学を馬鹿にしてはいけなと思う。

《今月のトピック》

4月に、2，3年は補習の募集を、1年は補習・ドリカムの募集をします。平日も長期休業中も一括して、通年で補習の受講を希望する生徒を募集します。中途参加はできませんので、忘れないように申し込んで下さい。特に3年生は、受験に必要な科目全部を受講するようにして下さい。夏休みも、入試直前の冬休みも、この補習を基に入試対策をします。詳細は担任から連絡します。

<今月の進路に関する行事>

	1年	2年	3年
4/3 (金) 4/6 (月) 4/7 (火) 4/8 (水) 4/15 (水) 4/22 (水)	入学式 始業式 課題考査	離任式、入学式準備 始業式、課題考査 課題考査 補習開始	離任式、入学式準備 始業式、課題考査 課題考査 進路説明会（生徒向け） 補習開始

進路カレンダー（「進路の手引き」より）

【1年生】

入学式 第1学期始業式 春休み課題考査	* これから始まる高校生活に対し、不安と期待、そして意気込みが入り交じって緊張していることですが、大丈夫です。緊張感が長く続いた人はそれだけ得るものが多いのです。分からないことは先生や先輩にどんどん尋ねましょう。緊張感を持って高校生活を送ってほしいと思います。
面接週間	* クラス担任の先生との個別面談が行われます。不安に思っていることや知っておきたいことがあれば、積極的に尋ねましょう。
	* 授業の予・復習など家庭学習をこの時期から習慣づけてください。何事も最初が大切です。1年生は平日では最低2時間、休日は6時間をめざしましょう。家庭学習を毎日、高校3年間続けることが自分の進路希望実現のために最も良い方法です。ただし、単に教科書を書き写すとか単語を調べるだけの、頭を使わない機械的な作業は、学習とは言えません。学習とは、考えて（頭を使って）原理や原則をつかむことです。最低限、覚えるべき事は覚えなければなりません。丸暗記ではなく、しっかり考えて理解した上で覚えなければ身につけません。自分の学習が機械的な作業に終わっていないか、本当に頭を使って学習できているか、常に気をつけてください。
部活動本登録	* 勉強と部活動の両立は、高校生活を豊かにし、進路実現にも有効です。部活動に積極的に参加し、勉強と両立できるように頑張りましょう。
進路オリエンテーション （進路希望調査） 週末課題開始	* 先輩の進路先を中心に本校の進路の状況が説明されます。将来への夢を大きく持ってください。自分の人生は自分で切り開くものです。目標を高く持ち、努力を惜しまず、頑張りましょう。
	* 週末ごとに教科から課題が出されますので、きちんと解答し、必ず赤で直して提出しましょう。提出期限を必ず守ってください。

【 2 年 生 】

第 1 学期始業式 春休み課題考査	* 春休みは有意義に過ごせたでしょうか。最初からつまづかないよう、きちんと学習して試験に臨みましょう。また、課題の提出も期限を守りましょう。新たに始まる 2 年生の授業の妨げにならないよう、すっきりスタートしたいものです。
進路希望調査	* 進路希望をどんどん具体化させていかなければなりません。家庭での相談も大切です。特に進学希望者は大学だけではなく、学部・学科まで含めて複数の選択肢を考えておく必要があると思います。 担任の先生との面談では、分からない点はどしどし質問して不安を取り除き、目標を高く持って今後の生活に邁進してください。
補習開始	* 2 年生の補習計画について、書きましょう。 原則として英語・数学・国語の 3 教科の補習は 4 月から翌年の 3 月まで早朝（7:30 ～ 8:15）に通年で実施されます。理科・社会の 2 教科は来年 1 月から実施される予定です。 補習は日常の学習のアクセントにできますし、授業ではできないような深い内容が多いので、実力向上の良い機会でもあります。積極的に受講してください。

【 3 年 生 】

第 1 学期始業式 春休み課題テスト	* 受験生としての自覚がありますか？何事もスタートが肝心です。その気になれない、などと言い訳をしていると、あっという間に夏休みです。焦っている人もいることでしょう。以下の 4 つのチェックポイントで自分をチェックしてみましょう。①授業に集中している。②課題や小テスト等に真面目に取り組んでいる。③補習・ドリカムなどに参加し、かつしっかり勉強している。④家では自分で決めた時間から決めた時間、机に向かって勉強できる。つまり、授業・補習・家庭学習をしっかりやれるかどうかです。常にこれらができていて、担任、教科担任の指導に対して素直に耳を傾けられる人が受験生です。さあ、受験生になりましょう。
進路希望調査	* 3 年生になるとすぐに進路希望調査が実施されます。君の希望は明確ですか？学部や学科の内容についての知識はありますか？志望校をあげられますか？受験科目は分かっていますか？ 志望校が決まっていなければ受験科目も決められませんし、受験勉強も始められません。資料を調べ、先生に質問して必要な情報を集める必要があります。不正確な情報で失敗しないようにするために、きちんと資料を読む習慣をつけ、先生や両親のアドバイスも大事にしてください。資料はクラスの本棚にある受験年鑑などの他に、本館 1 階の進路指導室・進路資料室にもたくさん揃っています。他のクラスメートや同級生が使うことも考えて、ルールを守り、積極的に利用してください。 * 公務員や就職についての指導の詳細は該当ページを参照してください。公務員試験は、早くから問題集を購入して試験勉強をしなければ合格できません。
受験勉強計画作り	* * 受験への長期計画 * * 「受験勉強」は授業の延長線上にあります。しかし、何をどう勉強するかについて自覚し、計画的、系統的に学習しないと、進路希望は実現できないでしょう。まだ、志望校が決まっていなかったり、受験科目が決定していないという状態では、受験への長期計画を立てることはできません。志望校を絞りきれず、受験科目も迷いがある人は担任の先生と相談してください。ただ、この時期に言えるのは、自分の志望を大切に、安易に受験科目を絞らな

	いことです。また、学校で行われる補習やドリカム、早朝学習などを活用して学習時間をしっかり確保してください。毎日勉強すれば必ず力がつきます。 また、受験生が多くの色々な模試を積極的に受験し、その時の力を知って自分の志望校との「距離」を認識することは、受験では常識です。自分の志望校に対する判定が厳しくても気にする必要はありません。学習の効果はすぐには出ないもので、毎日の地道な努力が後になって判定を覆します。重要なことは、模試の結果に一喜一憂するのではなく、答え合わせや間違っていたところの解明、さらに問題を解き直すなど、模試の事後処理をきちんと行うことです。一時的に模試の成績が悪くても、きちんと復習して実力をつける人は本番の入試で成功します。これができる人は、日頃から授業への集中、課題や小テスト等への真面目な取り組み、積極的な補習・ドリカムへの参加、毎日の家庭学習をしっかりやっている人です。1・2 年生の時と同じように「勉強しなさい」などと親や先生から注意されるようでは受験生失格です。 言うまでもないことですが、先生方の指導に素直に従ってください。中旬から担任の先生との面接が行われます。自分が望む進路を実現するために助言を素直に受け入れてほしいと思います。
進路 L T	* この進路カレンダーを中心に 1 年間の進路に関する流れを把握します。一通り、目を通してどこに何が書いてあるか知っていれば何かと役に立つでしょう。君たちに期待するのは、進路に対する主体的な姿勢です。 今の生活状況から自分の行く末を冷静に考えてみてください。もしなかなか勉強する気になれないとしたら、いったいどこに問題があるのでしょうか？自分の将来を本当に真剣に考えていますか？
進路説明会	* 以下の点について説明する予定です。 ① 卒業生の進路状況 ② 進路(入試)スケジュール ③ 進路に対する留意点 ④ 進路指導室(資料室)の利用方法
補習開始	* 3 年生の補習は、1 学期から夏休みを経て 3 学期始めまでです。冬休みとその前後は、センター対策演習や私大の受験対策指導もあります。積極的に参加し、受験の成功を勝ち取りましょう。

卒業生に続け !

卒業生（34 回生）は、この春の国公立大学の合格者数が 67 名（現役 64 名）でした。愛知大学は 200 人以上が合格しました。

君たちも、毎日遅くまで資料室や図書室・廊下にまで残って真剣に勉強に取り組む先輩達の姿を見たことがあると思います。卒業式後も制服を着て登校し、後期試験に向けて指導担当の先生と一生懸命取り組んでいました。中には、4 月の模試から本番にかけて、100 点も 200 点も総合得点が上がったという卒業生もいました。先輩達は本当によく頑張りました。

このように地道に頑張った生徒が、志望校に合格したのを見るのは、本当に嬉しいものです。今年も努力が実を結ぶケースをたくさん見たいと思います。新 3 年生の皆さんはこれに続き、さらにこれを越えてほしいと思います。君たちにはその資質が十分ありますから、その資質を発揮できるように努力してほしいのです。先生たちも全力で応援します。